

# 2016年度LET関西支部春季研究大会

2016年5月21日（土）

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパスB号館

## 基調講演

明示的文法指導、明示的フィードバックが  
効果的な文法項目とそうでない文法項目

ー項目別に教え方を変えてみようー

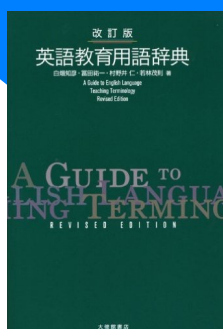
白畑 知彦 先生（静岡大学）

### プロフィール

静岡大学教育学部、並びに愛知教育大学・静岡大学共同教科開発学専攻（博士課程）教授。専門は、言語習得論、外国語教育学。主な著書（共著、分担執筆を含む）に、『英語指導における効果的な誤り訂正』『改訂版 英語教育用語辞典』『英語習得の「常識」「非常識」』（以上、大修館書店）、『ことばの習得』『第二言語習得における束縛原理』（以上、くろしお出版）、『詳説 第二言語習得研究』（研究社）がある。

### 講演概要

本講演では、教師からの明示的文法指導や明示的修正フィードバックが効果的である項目と、効果的ではない項目があることを、本発表者の収集した実験データを基に提示し、日本の教室場面での英文法指導を効率よく行うための工夫を提案したい。私たちが日本の教室という学習環境で英語を教える場合、「いくつかの制限がある」ことを常に念頭に置かなければならない。その内のいくつかは、授業時間数が多いとは言えず、必然的に言語インプットが十分に確保できない、年齢が高い学習者ほど論理的、分析的思考能力が身につけている、平均して30名の学習者が教室にはいるが、教師はたいてい一人である、などである。このような学習環境に適した文法指導を考えてみたい。



<http://www.let-kansai.org/>



# シンポジウム

## 第二言語教室での実践 教師の口頭訂正フィードバックを理論で語る

大関 浩美 先生（麗澤大学）・名部井 敏代 先生（関西大学）  
森 博英 先生（東京女子大学）・吉田 達弘 先生（指定討論者：兵庫教育大学）

### プロフィール

大関 浩美

麗澤大学外国語学部准教授。専門は第一・第二言語習得論、日本語教育学。研究テーマは文法習得、特に名詞修飾節の習得。

名部井 敏代

関西大学外国語学部教授。専門は英語教育学、第二言語習得理論。研究テーマは教室内第二言語習得、特に教師と学習者の対話・アウトプット・フィードバックの役割・効果。

森 博英

東京女子大学現代教養学部教授。専門は英語教育学、第二言語習得理論。研究テーマは訂正フィードバックの効果、明示的・暗示的知識の習得、子どもの外国語習得、英語教育政策。

吉田 達弘

兵庫教育大学学校教育研究科教授。専門は英語教育学。英語授業・学習、および、英語教師の成長を社会文化的理論から考察している。

### シンポジウム概要

実際の授業実践の意義を理解したり実践の効果を考えようとするとき、第二言語習得研究から得られる知見は役立つだろうか。本シンポジウムでは、第二言語習得研究を専門にする三名がSLA理論を踏まえて教室での実践、特に教師の口頭訂正フィードバック付与の実践について、多角的に考察し論じる。三名の発表の後、指定討論者が発表者に質問する形で議論を深める。

